

訳者まえがき

メンタリスト Da - Go

ダレン・ブラウン。

あなたはこの偉大な人物を「存じでしようか？」もしかしたら、テレビから流れる僕のセリフ「これがメンタリズムです！」を聞いたり、僕が見せる不思議な「デモンストレーション」映像を見たりして、「メンタリズム」に並々ならぬ興味を持ち、この本を手に取られている方も多いかかもしれません。日本にいるとまったく気づかないかもしませんが、現在メンタリズムは世界的ブームのさなかにあります。正確には第3次メンタリズムブーム。「そんなブームがいつあったのか？」と首をひねられる方のほうが多いでしょからご説明します。

最初のブームは1950年前後。オーストラリアのビデイントン夫妻が英国で披露したテレビショーやパフォーマンスが第一次ブームの火付け役となり、ラジオを中心に多くのメンタリストが活躍しました。2度目は皆さんの中にも「記憶の方がいらっしゃるかもしれない、かの有名な超能力者ユリ・ゲラーが、1972年にスタンフォード研究所で行つた超能力実験を機に巻き起こつた超能力ブーム。これは僕らの業界では第2次メンタリズムブームと呼ばれています。

ユリ・ゲラーの登場以降、海外での“メンクリスト”によるメンタリズムパフォーマンスは、エンターテインメントの一つジャンルとして認知され、世界各国でさまざまなメンタリストが現れ、活躍してきました。とはいっても、それはあくまでショーのジャンルとして世間に認知されるようになつたということ。全世界的なブームになつてはいたわけではありません。

ここで、この本の著者の登場です。

ダレン・ブラウン、1971年2月27日生まれの英国人。2000年には、メンタリズムの歴史を変える番組が英国で放送されます。彼の名前を冠した英国「チャンネル4」制作のテレビ番組、『ダレン・ブラウンのマインド・コントロール』です。

メンタリズムはもともと、占い師や呪い師らが人を信じ込ませるために使う、さまざまな悪質な技術を起源としたパフォーマンスです。奇跡のように見えるイカサマ技や、信者を獲得するためには磨かれた心理学テクニック、コミュニケーション用のトークスキル、一日で相手を見抜く観察眼など、これらを駆使して、さも超能力や霊能力があるかのように見せるショー。あくまでショーアートとしての靈能力や超能力の再現なのですが、これまでのメンタリストの多くが「本当に科学では解明できない人智を超えた力が存在する」というに振る舞つていました。確かに、何も説明せずにメンタリズムパフォーマンスを見せられれば、普通の人には超能力

や靈能力との区別はつかないでしょう。そしてそれゆえに、ショーンとして見た場合、その神秘性をあえて壊す必要性や意味をこれまでのメンタリストたちは見出せなかつたのも仕方のないことだ、と。誰もがそう思つていたのです。ダレン・ブラウンが登場するまでは!!

ダレンは、これまでのどこか怪しさのつきまとつたメンタリズムの世界に、科学や学問を掲げて現れました。ダレンは番組の冒頭、その初っ端から視聴者に向かつて言い放ちます。

「私のパフォーマンスは、トリック、暗示、心理学、誤認誘導、そしてショーマンシップでできていく」と。

これは革新的とも画期的とも言える事件でした。長年、メンタリズムとは超常現象っぽいことを指すのだと、一般の観客もメンタリストたちも半ば自然に受け入れていたところに、ダレンが現れたのです。彼はこれまでと違い、そのパフォーマンスの裏側に潜むメンタリズムテクニックの一端を番組を通じて公開し、視聴者に知らしめるスタイルで人気を博します。一見、超能力のようにしか見えない技の数々。しかし、その裏にある本来のメンタリズムが持つ悪質い知恵や罠。それらを、学術的な見地から見つめ直し、どのようなロジックがそれを成すのか、ダレンは怪しげだつたメンタリズムのテクニックを学術的に定義し直してしまいました。

こちらの思い通りの選択や行動を相手が望んでとる、その裏に潜む仕草やトークのテクニック。気づかぬうちに思考や精神状態に変化や影響をもたらしてしまう、さまざま環境や状況。

況の秘密。ダレンのパフォーマンスには、スパイズのようにそれらがちりばめられていました。ダレンのパフォーマンスは、誰もができない超常の力ではなく、人が研究し解き明かしてきた多くの事柄によつて人はすでに超能力を実現できるのだと教えてくれます。もちろん、多くの知識を得ることは必要ではあるものの、現実的な意味で夢にあふれていると思いませんか?

現在のメンタリズムはダレンの登場によつて大きく様変わりしました。多くの有名なメンタリストたちは皆、彼にならつてパフォーマンスの裏側には字術的な裏付けがあると声高に語るようになつたし、そういう要素が見え隠れするよう振る舞い、演技するようになりました。ですが、やはり本家たるダレンの持つ深みには届いていないようです。もちろん僕も含めてです。

この本には、ダレンのさまざま知識が詰まっています。その頭の中は常人とは一線を画して多層的かつ広大にできているようで、時々、小難しかつたり、幾重にも意味合いのとれる言い回しが登場しますが、知的遊戯を楽しむ格調高き英國紳士の頭脳に挑戦するつもりで、この本を繰りいていってください。きっと読み終える頃には、僕のパフォーマンスの仕組みが解けるようになる人も現れていることでしょう。